

【戦評シート】

平成21年 11月15日(日)	協会名： 高山市バスケットボール協会	
場 所： 高山ビックアリーナ	記入者： 小林茂樹	
チームA 豊田通商 ファイティングイーグルス 5勝 0敗	19-17 16-19 24-21 29-11	チームB アイシンAW アレイオンズ安城 3勝2敗

スターター	チームA： #1宮崎、#4ハウスマン、#5伊藤、#10岩田、#11松藤
	チームB： #3吉田、#6伊興田、#11金子、#15落合、#21鈴木
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

1P 両チームハーフコートのマンツーマンでスタート。豊田通商はオフェンス、ディフェンス共に#4ハウスマンを中心に試合を展開。アイシンAWは豊田通商#4ハウスマンを激しくマークするが、ファウルが重なり、#4ハウスマンに何度もフリースローを決められ、2点ビハインドで終了。

2P 豊田通商#24ウィリアムスを中心に攻撃し、リードを広げるが、豊田通商#1宮崎のアンスポーツマンライクファウルにより流れが変わる。アイシンAWは5人全員で激しくマンツーマンデフェンスで守り、リバウンドから速攻をしかけ、#11金子の3P、#9足立の2Pで追い付き逆転し1点リードで前半を終了。

3P 豊田通商#4ハウスマンを中心に攻撃をしかけ、リバウンドを支配し点差を拓く。アイシンAWは激しいマンツーマンデフェンスから速攻を仕掛け、#11金子、#6伊興田の3Pで対抗するが、残り6分でチームファウルが5回目となり、豊田通商#4ハウスマンにフリースローを決められる。アイシンAWは#9足立の3P、ステールなどにより点差を縮めるが、2点リードを許して終了した。

4P 豊田通商は#4ハウスマンを軸に攻め続け、リードを拓ける。アイシンAW#3吉田の3P・2Pで反撃するが豊田通商#1宮崎の3Pや、#24ウィリアムスにボールを集めた攻撃によりリードを拓け突き放し、20点差で試合終了。

※M注意：文面には試合内容のみご記入下さい。